

地方通信



東北地方

秋田縣道路工夫慰安會並 道路愛護會聯合會

本欄既報の通秋田縣に於ては各土木事務所管下毎に道路工夫の慰安會を催したが舊臘左記の事務所に於ても來賓多數臨席の下に盛大に之を開催した、尙縣内二百七十餘を數ふる道路愛護會も各土木事務所管下毎に聯合會を組織し其の使命達成の爲めに努力しつゝあるが土崎土木事務所管内に於ても道路工夫慰安會と同時に之が聯合會立創總會を開き管下三十餘の道路愛護會は滿場

地方通信

一致を以て南秋田郡道路愛護會聯合會を結成した。

十二月十二日

湯澤土木事務所 (道路工夫十三名)

十二月廿五日

土崎土木事務所 (道路工夫十七名)

山形縣下明鏡橋成る

山形縣西村山郡大谷村と宮宿町とをつなぐ明鏡橋は水面から橋面までの高さが十九米で屹立する兩岸には樹木が繁茂し最上川の清流と相俟つて中々美觀を描出した、從來の橋は取付道路から七・五米も低く急勾配になつて居つた爲め自轉車リヤカーなどは頗る困難を感ぜしめられたが新橋は長さ

七四米有効幅員五・五米取付道路との勾配は緩和せられた工事費四萬圓で交通上多大の便利を得ることゝなつた。

關東地方

埼玉縣土木費負擔箇所

埼玉縣での十三年度豫算中土木費内道路費に屬するものゝ箇所は次の通りであると傳へられて居る。

- ◇指定道路修繕箇所△鴻巣加須線常光村△九號國道大宮町△川越越生線越生町△川越兒玉線菅谷村△小川越生線朋覺村△秩父甲府線影森村中川村△深谷妻沼線明戸村△羽生館村線川俣村△加須古河線川邊村△吉川野田線松伏領村△幸手關宿線吉田村
- ◇橋梁指定修繕箇所△芝村△七里村△安行新田村入會△田面澤村△霞ヶ關村入會△名栗村△松山町△明覺村△原谷村△國神村△横瀬村△白鳥村△長井村△星宮村△井泉村△武里村岩槻村慈恩寺村入會△湖止村

◇假橋通常修繕箇所△仁年村△妻沼町澤野

村入會△男沼村△男釜村花園村入會△武

川村本島村入會△御正村大麻生村入會△

吹上町吉見村△川田谷村八ッ保村入會△

平方町植森△古谷村△馬室村△土合村宗

岡村入會△山田村名細村入會△山田村三

保谷入會△野本村高坂村入會△勝呂村

◇渡船 △仁手村△男沼村尾島村入會△田

力金村花園村入會△武川村本島村△御正

村大麻生村入會△吹上町吉見村入會△馬

宮村△川田谷村八ッ保村入會△平方町植

木村入會△馬宮村△古谷村△土合村宗岡

村入會△内間木村△野本村高坂村入會△

勝呂村

◇道路改良工事箇所 △鴻巣町△安行村戸

塚村△草加町△谷塚村△片柳村△川口市

△志木町、宗岡村△南畑村、宗岡村△小

手指村、山口村△植木村△川角村△八ッ

保村、小見野村△槻川村△龜川村△松山

町△平村△皆野町△原太村△三田川村△

花園村△深谷町△本郷村△奈良村△御正

村吉岡村△藤澤村△種足村△羽生町△三

俣村△下忍村△菖蒲村△越ヶ谷町△鷲宮

村△八幡村△蓮田町△栢間村△寶珠花村

△松伏領村△吉川町△八木郷村△本庄町
旭村七本木村△丹庄村△若泉村

◇橋梁架換箇所 △芝村△新田村△古谷村

△明覺村△平村△唐子村△皆野町二ヶ所

△三田川村△白鳥村△北泉村△本線村△

荒木村△忍町△八代村

◇道路費補助 △内間木村八三〇圓△白子

村一二七三圓△川越市一七二七圓△古

谷村五一〇圓△所澤町二、〇七〇圓△入

間川村七五〇圓△入西村七八〇圓△大家

村五七〇圓△飯能町一、四五九圓△南高

麗村一、〇九九圓△白鳥村一、五〇〇圓

△横瀬村四五〇圓△共和村六三五圓△若

泉村二、二八〇圓△熊太郎一、二四五圓

△寄居町四一四圓△長井村七七五圓△忍

町五三四圓△三俣村一八七圓△篠津村五

四〇圓△幸手町三三五圓△杉戸町四三三

圓△三輪江村九三〇圓△吉川町一二五圓

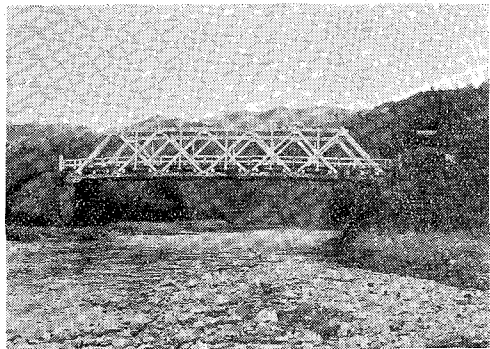
△彦成村四三三圓△合計三八、六六九圓

◇治水費補助△中庄内悪水路普通水利組合

二、六一九圓△荒川右岸用排水普通水利

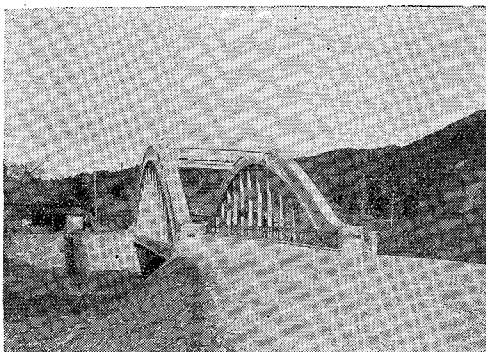
組合四〇八圓△合計四、〇五六圓

茨城縣下新装の央橋を見る



(日露戰役時代之橋)

水戸を語るものは先づ黄門を語らねばならぬ、その黄門が晩年西山に隠退して想を大日本史に漑いだ由緒の地太田を去る僅か六軒の久慈郡河内村佐都村の村界に此度本縣最初のコンクリートタイドアーチが懸つた。此邊は所謂里川の溪谷であつて山は高く水は清く一日の清遊に好適の地である。府縣道水戸會津線(指定第一號)は丁度



(橋央の装新)

S字型に曲つたこの里川を三度渡つてゐる。上流にある橋梁は町屋橋で下流は春友橋でこの度架つたのは中央にあるところから中央橋と呼ばれてゐる。

古い中央橋は明治三十七年本縣最初のハウトラスとして葦星の如く現はれ當時その新しい結構の美を謳はれたものであつたが、時の流は如何とも致し方なく本縣最後

のハウトラスとして僅かにその餘命を保つてゐた、然るに昭和十年の大洪水に因り一朝にして墜落流失したので縣は直ちに國庫の補助を仰ぎ工費二三、〇〇〇圓を投じ橋長三四、〇米有效幅員六、〇米のこの新しい橋梁を計畫し今その美しくしい姿の完成を見た次第である。

北陸地方

富山縣神通川の三大橋架

換か

富山市の西部發展上必須的な事業として重大性をもつ神通三大橋の工事は政府の起債抑制と鐵材節約のためその實現を危ぶまれてゐたが、その後内務、大藏兩省の肚を打診の結果大體の諒解を得たのでいよいよ斷行と決定したもので富山市の西部發展策に重大な影響を持つ神通大橋を眞先に着手することゝなつた、笹津、有澤の兩橋は鐵材を多く使用し工費も多額にのぼる關係から縣が直營で工事を行ふ豫定で明春一月着

工することになつた。

東山地方

岐阜縣郡上郡八幡の觀光橋開通す

岐阜縣々道中、郡上郡八幡町より白川村に通ずる二號路線の宮ヶ瀬橋は昔時頼山陽が奥美濃探勝の砌暫らく足を止め近くは野口雨情が漫遊の節「今夜逢ひまじよ宮ヶ瀬橋で月の出るころ登るころ」と詩情をそゝつた所でモダン味の中に詩趣を綴り込んだ架橋工事は愈々落成を告げ舊鷹渡橋式を舉行した、こゝに觀光八幡にふさはしい八幡城と調和せる美装をこらして縣道八幡——白鳥線、大きくは表日本と裏日本をつなぎ重要幹線路にあたる宮ヶ瀬橋の完成を見たわけである。

東海地方

愛知縣名古屋市内の道路

美粧

愛知縣名古屋市の第七回失業應急事業に依る街路舗裝事業は愈々明年十三年度中に左の十二路線を選び施工することとなつた、

△運河西線一八四〇メートル(東海橋中川橋間) △御器所、呼續線七〇〇メートル(熱田中學、牛卷通り間) △都計十四號線一〇五〇メートル(南大津町東郊線間) △府縣道秋竹熱田線一二六〇メートル(江川線、府縣道名古屋、桑名線間)

△市道筧川線八七〇メートル(府縣道名古屋、蟹江線、市道新當町線間) △市道筧瀨川線、二一〇〇メートル(國道十二號線、御器所、中村線間) △市間藪下町九七四メートル(堀川西線、筧瀨川線間)

△市道赤萩町線、一一九〇メートル(覺王山、物部神社間) △府縣道瀬戸、千種線および市道車道線、九七四メートル(廣小路通り、府縣道名古屋、學母線間) △市道元古井線、八二八メートル(覺王山府縣道名古屋學母線間) △市道須賀町支線第五號、二〇〇メートル(國道十二號

線須賀町間) △江川端町線、一一四五メートル市道枇杷島、勝川町線、市道江川線間)

近畿地方

和歌山縣下西高野街道に輝く大門口橋成る

和歌山縣下高野の表參道西高野街道の玄關口紀ノ川大門口橋も南海高野線の開通以來パツタリ忘れられ對岸へは僅かにさゝやかな季節的の假橋や渡船によつて保たれ、昔の繁榮は老人の語り草と化し、産業開發は阻まれ地方民は非常に不便を感じ十餘年前から本橋架設要望の聲が擡頭し地元伊都郡笠田、見好兩町村民有志は期成同盟會を結成し促進運動をつゞけてゐたが幸か不幸か先年の關西大風水災害の際落橋したのに刺戟されて急に具體化し地元見好村二萬四千四百圓、笠田町六千四百圓の寄附と國庫補助縣費支辨などを合せ約十萬圓の經費で一昨十一月起工此の程發成を見るに至つた、

同橋は延長四百三十七メートル餘で龍門橋に次ぐ縣下屈指の長橋梁、徑間は二六・四メートル、十六連、二一・五メートル二連(兩側)橋脚は鐵筋井筒基礎十六基、高欄も鐵筋コンクリート、橋面はグレイン・フアルトで鋪裝する近代的ゲルバー式橋桁でこれが開通と相俟つて西高野街道の最難關である見好天野兩村境界市峠は五・六メートル掘り下げ前後延長四百六十メートルの改修が實現の運びとなつた譯である。

中國地方

鳥取縣下林道の開設

鳥取縣では産業獎勵の目的を以て林道開設に着手した即ち同工事は總工費十三萬三千百六十八圓、總延長二萬一千四百四メートルで産業獎勵費として五萬五千九百四十二圓の補助があり、その施行地は次の通りである(括弧内は延長および工事費)

△岩美郡岩井町(長谷森林組合)(九百三十一メートル五千四百六十圓) △日野郡

神奈川村(俣野森林組合)(二千九十七メートル一萬二千百十圓) △八頭郡智頭町(二千六十五メートル一萬五百三十圓) △同郡社村(一千八百二十二メートル一萬二千二百十圓) △同郡西郷村(一千四百五十四メートル七千九百二十圓) △東伯那旭村(千八メートル一萬八百十圓) △同郡上小鴨村(千九百二メートル九千九百九十八圓) △同郡山守村(一千七百五十七メートル一萬三千五百圓) △同郡以西村(一千四百四十九メートル六千三百圓) △日野郡八郷村(一千八百五十九メートル一萬四千六百二十圓) △同郡江尾村(千九メートル四千七十圓) △同郡米澤村(二千七百三十五メートル一萬三百三十圓) △同郡多里村(一千三百六メートル一萬七百十圓)

廣島市都市計畫の道路事業施行

廣島縣廣島市第一次都市計畫の道路事業は昭和十三年度をもつて完成することゝなつており着々其の工事を進捗しつゝある折から財政上次の三大路線を選定し益々其の

完成に向つて乗り出すことゝなつた。完成に向つて乗り出すことゝなつた。宇品、的場線、陸の支關廣島驛と海の門戸

宇品港を繋ぐ重要路線で宇品比治山間は早くも完成してゐた、このほど残部を着工約二百戸の民家を取拂ひ從來の四間道路を十二間に擴大して海陸兩支關を結ぶメインストリートを完成する。

貨物驛前線 廣島驛から貨物驛に通じ從來の二間道路を十二間に擴張、大量物資の輸送に備へることゝなり約九十戸の民家が立退くことゝなつた。

荒神大須線 陸海の軍都を聯絡する廣、吳國道の完成を目指してこれに蹠路を開くべく大洲方面から着工した第一、第二區に引續き全長の約大半を終了することゝなり四間道路を八間とし民家十五戸が立退くことゝなつてゐる。

四國地方

香川縣内の道路明粧工作

香川縣の土木事業の完成を豫定されてゐる

る事業は新觀光道路として特殊な意義をもつ小豆島一周ドライブ・ウェイの誕生を筆頭に主なるものゝみで十指にあまる賑かさであるが、本年内粧明工作は道路△小豆島一周ドライブ・ウェイ(二月完成) 縣道第二次改良事業として目下工事中の大部村宇小部から吉田に至る區間が近く開通すれば土庄町を起點とする特望の循環線六十五キロが全通するわけで島の陸上交通に一晝期をもたらしばかりでなく、數年前までは四國通路といへば一週間を要したものがパスを利用すれば一日で廻ることができ、觀光方面からいつても雄大華麗な海洋美を滿喫し得る新しい海の名所としてハイヤーで一週すれば僅かに三時間半、高松から日歸りも十分といふ便利な新名所の誕生はまづ第一に祝福されてよい。その他の道路では—高松琴平線が圓座村内成合橋が三月末までに完成することによつて全通、高松から自動車で約十分で金比羅參詣が出来ることになり、また明年度末までには高松—脇町線(佛生山まで) 高松—長尾線(井戸村地内の殘工事を了して完成) 觀音寺臨港線および莊内訖間々縣道などが完成の豫定で

ある△鋪装工事 國道二十三號線九龜―琴平間、指定府縣道九龜―多度津間、多度津―金藏寺間、坂出臨港線を經費十萬圓をもつてお化粧する豫定。

徳島縣道路の恩人追慕の祭

徳島縣三町郡池田町島崎傳吉氏は町村長昔時三好郡長として在任中野山分割と四國新道即ち香川縣琴平町を起點として池田町を経て高知市に至る三十五里に亙る道路開鑿上多大の功績のあつた故武田覺三氏の功績を偲び慰靈祭を十一月二十八日、町村長その他有志參列して燒香をなし故人の靈を慰めた。故人は明治十二年高知縣七等屬兼三好郡高等書記として赴任 翌十三年三好郡長に任せられ、二十四年退職 此の間地方青年の指導教養に私費を投じ勸業方面に於ても煙草共同製造の向上發達に種々努力し郡有野山の分割を斷行すべく反對を押し切り時の縣令北垣國道氏に建議し縣令より民益多大なりとて分割指令を受け分割方法取調委員會を設置して池田町外三十二ヶ村から議員六十二名を選び專業遂行上について研究協議し遂に二十一年に七千七百四十

六町歩の野山分割を行ひ四國新道開鑿については香川縣人故大久保甚之丞氏と相談り縣當局を動かし遂に明治十八年起工二十五里に亙る大道路を竣工するに至りたるもので此の間の故人の苦心は眞に大なるものがあつた。

九州地方

長崎縣諫早の交通地獄解

消か

長崎縣北高來郡諫早町島原線大村線の分岐點として地方産業、交通の中心的存在であるばかりでなく國立公園雲仙および泉郷小濱の咽喉を扼し、その發展は雲仙 小濱の發展と重大な相關性を持つてをり、これが發展の一つの大きな障礙となつてゐる榮昌踏切の交通地獄の解消は急速に解決すべき重要問題とされ縣では昨年八月工費八萬五千圓で縣道改修工事を起したが、その後着々進捗し今春五月ごろには竣工の豫定で練早町發展の新しいポイントを提供しよう

としてゐる。

この工事は全長四百七十八メートル、幅員七メートル、まづ榮昌踏切の交通地獄解消のため練早驛南方の長崎本線トンネル附近で國道二十五號線から分岐して島原線を跨線橋で越え、四面神社裏を通り縣道長崎島原線を横切り本明川は現在の四面橋の北側に橋を新設して對岸の縣道に接續しようといふ設計で、跨線橋は長さ十メートル、新設の四面橋は長さ五十メートル何れも鐵筋コンクリートである。

厚生大臣 (兼) 木戸文部大臣	廣瀨久忠
次官	兒玉政介
體力局長	林信夫
衛生局長	高野六郎
豫防局長	山崎巖
社會局長	成田一郎
勞働局長	進藤誠一
保險院長官	佐藤基
保險院總務局長	清水玄
同保險局長	藤川靖
同簡易保險局長	